

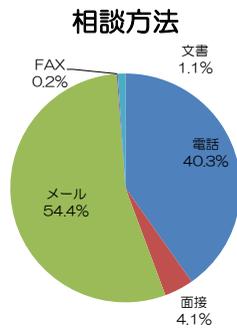
公益財団法人
がんの子どもをも守る会
相談事業:2012年度の件数と内訳

本部における事業内容

1. 小児がんに関する知識の普及・啓発事業※
2. 小児がんに関する調査・研究事業
3. 小児がんに関する相談事業
4. 小児がんに関する支援事業
5. 小児がん・小児難病に関する宿泊施設運営事業
6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

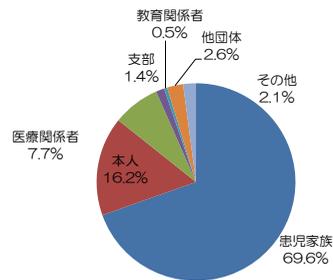
※ 季刊会報「のぞみ」が、各保健所・保健センターに配布されるよう
愛媛県保健副支部管理局医療対策課に85部送付

2012年度当会相談件数
(総件数3,420件)

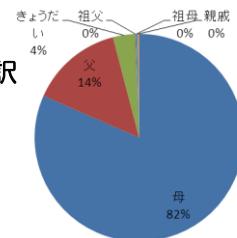


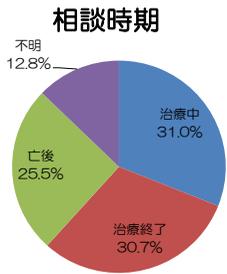
会員種別	割合
会員	64.6%
非会員	52.6%
不明	3.9%

相談者内訳



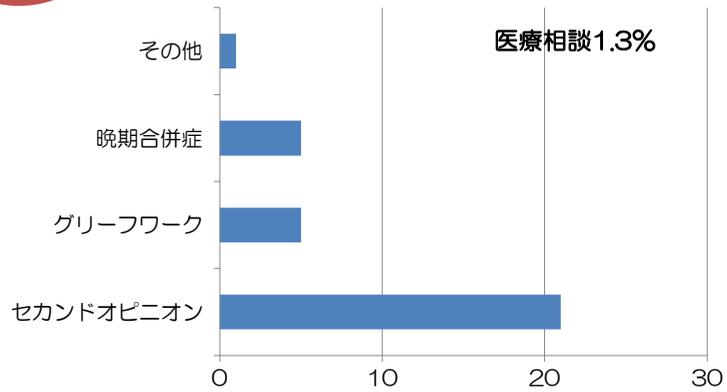
患者家族内訳



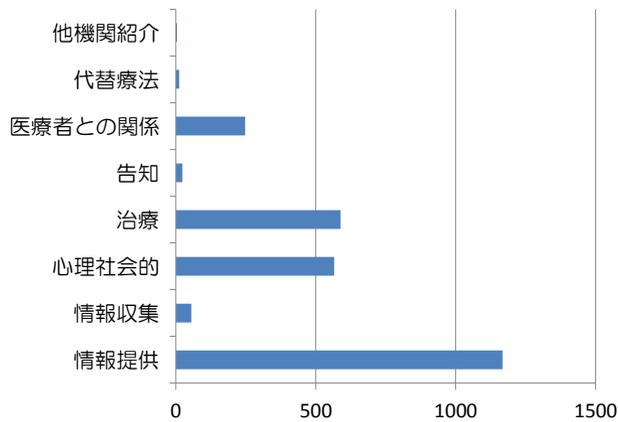


相談内容

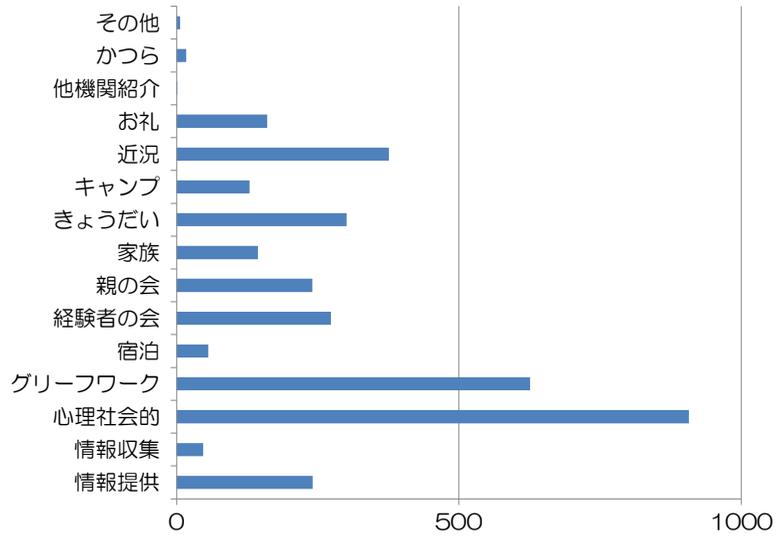
生活相談98.7%
医療相談1.3%



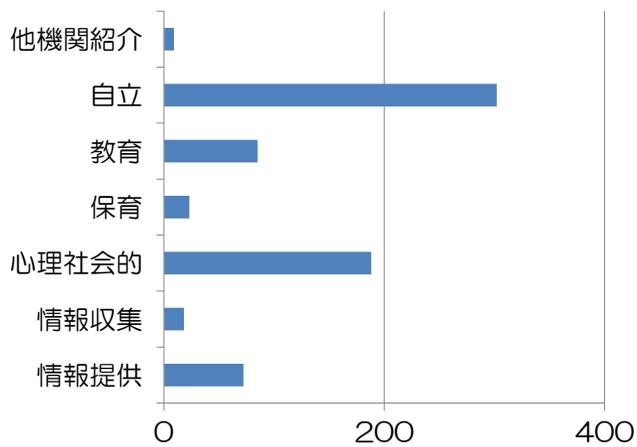
生活相談 ※受診受療



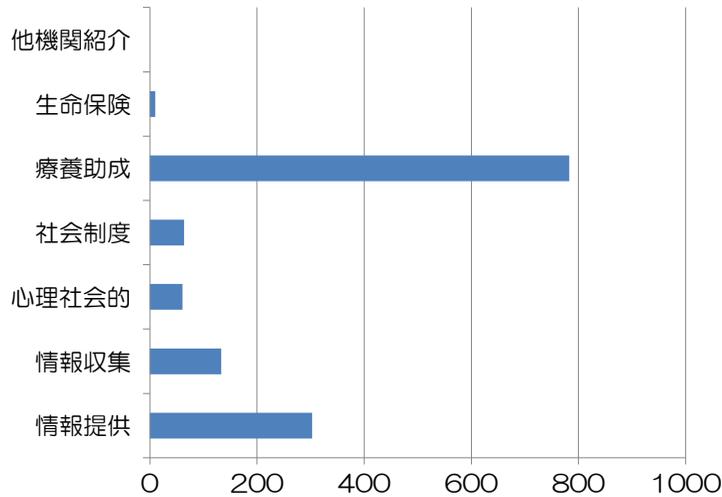
生活相談
※療養生活



生活相談
※社会復帰（患児・保護者）



生活相談
※経済的問題



小児がん拠点病院構想における

- 1) 小児がん中国・四国ネットワーク会議の意義について
- 2) 愛媛県における小児がん医療のあり方について
- 3) 中国・四国における守る会5支部の連携について

平成25年11月16・17日東広島市で、守る会の第1回中四国支部連絡会が開催された。

広島大学病院小児科の小林正夫教授は、「小児がん拠点病院について」と題する講演の中で、同ネットワーク会議において、小児がんと向き合う子ども/家族や小児がん経験者のニーズを、守る会や経験者の会を通して把握し、各地における取り組みを共有していきたいという意向を示された。

愛媛県の小児がん専門医と守る会愛媛支部とが共有する、生活・就学・就労支援の必要性

(小慢対策が見直される中、自己負担額が増額され、親の経済的負担は増大する見通し。)

◎ 入院中の支援

- 滞在施設の提供(愛媛大学病院) ➢ 院内学級の教師増員/学籍移行の問題解消
- チャイルドライフスペシャリスト/臨床心理士の配属 ➢ ファシリテッドッグ・プログラムの導入

◎ 就労支援